

科目番号	14	科目名	地域の歴史と民俗文化		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀文教短期			大学	
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係				
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921	
担当教員	中島 誠一			(国文学科 学部 非常勤講師)	
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	松翠館3階 大講義室	会場	滋賀文教短期大学		
授業期間	2026年4月10日(金)～2026年7月24日(金) <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 45 ~ 12 : 15				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)	50		%	
	レポート試験(期末)			%	
	平常点(出席・授業態度)	20		%	
	その他(小テスト)	30		%	
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	<p><授業形態> 授業の都合により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。</p> <p><欠席連絡> 欠席連絡については、滋賀文教短期大学 学務課教務係(0749-63-5815)までご連絡ください。</p> <p><その他> 授業の理解度を確認するために小テストを、身についた力を確認するために期末テストを行います。小テストの結果は講義中に講評します。</p>				
<講義概要・到達目標>					
【授業概要】					
<p>初めに湖北地域のシビックプライドが歴史と民俗によって育まれていることを説明する。そして大学の立地する田村地域を中心に現地踏査をおこない、身近にある歴史的文化遺産を具体的に教える。次に学習の範囲を、湖北全域に拡大し、PPT・DVDによる視聴をまじえ、人々が継承してきた種々の生活文化を紹介する。小テストで学習進捗状態を確認ののち、羽柴秀吉による長浜城下町形成と今も人々のあいだに脈々と流れる進取の機運が生み出した数々の有形、無形の文化財(建造物・職人の技など)について教える。湖北地域の豊かな歴史民俗文化遺産を多方面から体験し、学び、生涯の指針となるよう授業を進める。</p>					
【到達目標】					
<p>1.人々の暮らしの中に息づく祭りや、特徴ある習俗に目を向け、地域の個性について理解する力を身に付け応用できる。</p> <p>2.湖北地域の歴史遺産が人々の生活に欠くことのできないものであることを、学習を通じて体得することによって自分の住む地域の様々な問題、課題について解決能力を身に付けることができる→期末テストによって自身の習得結果を確認することができる。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月10日	湖北の歴史文化遺産PPTガイダンス。年間の学習内容説明。			
2	4月17日	田村の歴史文化遺産―田村山登山&村の中を歩いて考える―(フィールドワーク)			
3	4月24日	ユネスコ無形文化遺産―長浜曳山祭の行事内容について学ぶ―			
4	5月8日	曳山文化の伝播―湖北を中心とした曳山祭の関連性について考える―			
5	5月15日	湖北地域の雨ごい信仰の多様性―竜神信仰と太鼓踊りの関連を知る―			
6	5月22日	近江で行われた雨ごい行事―竜神信仰と太鼓踊りの関連を学ぶ―			
7	5月29日	湖北のおコナイ行事―なぜこの行事は根付いているのか考える―			
8	6月5日	1～7回までの学習について振り返り、自分の進捗度を測る―小テスト―			
9	6月12日	湖北の村の暮らし―長浜市西浅井町月出一過疎化と郷土愛			
10	6月19日	湖北の村の暮らし―長浜市西浅井町菅浦一伝統と村の組織			
11	6月26日	発展する明治の長浜―大商人たちの活躍―現在の長浜との関連			
12	7月3日	長浜の食事―祭りと日常― 鯖素麺、講汁、鮎鮓			

13	7月10日	長浜の諸職—鍛冶屋、鼻緒、竹細工、提灯
14	7月17日	長浜の諸職—長浜仏壇と曳山修理
15	7月24日	歴史と民俗文化について振り返る
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】特にないが、授業の都度、新聞記事やSNSからの各種情報をテキストとして配布するので講義のNo.日付をつけて整理しておくことが大事。まとめれば湖北を知る事典として活用できるはずである。</p> <p>【参考書】『川道のオコナイ 湖北に春を呼ぶ—俵鏡餅—』中島誠一 サンライズ出版 2011、『近江の祭りを歩く』中島誠一 サンライズ出版 2012 長浜城歴史博物館特別展図録『近江のオコナイ』『山車・屋台・曳山』『手仕事を伝える』『神になった秀吉』など</p>		